

【ビジネスセミナー】 日本の防災技術及び防災研究の紹介(米国)

開催日：令和4年12月6日

場所：ワシントン州レントン市

共催：在シアトル総領事館、シアトル日本商工会、ワシントン州日米協会、
経団連米国事務所、ワシントン大学－東北大学アカデミックオープンスペース

参加企業：当地企業・自治体関係者、一般市民等

在シアトル総領事館

- ワシントン州はかねてから大地震と沿岸部での甚大な津波被害が予測されてきたが、最新の研究により、シアトル中心部でも地震発生から数分後に津波が到達するおそれが指摘され、災害への対策を求める声が高まり、防災への関心が高い。そのシアトルにおいて、長年の経験からの日本の防災に関する技術と知見を共有した。
- シアトル市緊急管理室長により同市の防災の取組みと課題が紹介された後、日本企業及び研究者による日本の優れたデジタル防災技術や最近の防災研究の成果についてのプレゼンテーションが行われた。その後の質疑応答では、各発表の内容に対する具体的な質問が相次いだ。
- 日本と同じく地震や津波への警戒心が強く、防災への関心が高いシアトルにおいて、防災分野における日本企業の優良事例や技術、知見を当地企業関係者、自治体関係者、一般市民等に広く共有することで、米国のパートナーとしての日本の姿を発信することができた。
- セミナー後のレセプションでは、これら日本企業の関係者と、当地の災害対策関係機関関係者や災害対策商品取扱企業関係者等をはじめとする、当地の政財界の有力者、有識者の間の人脈構築を図ることができた。

